

徳島県歯科技工士会 第 102 回生涯研修（自由研修課程）

2024 年 1 月 21 日（日）

講師：前川泰一先生

【演題】

アナログ技工のデジタル化

～シークエンシャルオクルージョンのコンセプトを臨床に取り入れる～

【抄録】

近年の歯科業界全体のデジタル化は目まぐるしいものがあり、補綴装置の製作方法もどんどんと変わりつつある。私達はその変化に対応するべく、日々情報を集め自身の常識を書き換えていかなければならない。

そんな時代において、咬合学の中のシークエンシャルオクルージョンの概念は何年も前から咬合を可視化し、デジタル機器を駆使して咬合治療を行ってきた。そのコンセプトも時代と共に進化・発展し更なるデジタル化が進んでいる。私達はそれを学んで軸とし、そこにデジタルの要素を少しずつでも取り入れて発展させていけばよいのではないかと考えている。今までに培ってきたアナログの知識や経験にデジタルを加えることで、さらに素晴らしい補綴装置が患者に提供できるのではないかと考えている。